

令和元年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立青少年教学の森野外活動センター
指定管理者	一般財団法人 大阪府青少年活動財団
指定期間	平成23年4月1日から平成33年（令和3年）3月31日
施設概要	敷地面積：265,000㎡ 管理棟：鉄筋コンクリート3F延べ床面積1,730㎡ 本館：鉄筋コンクリート2F延べ床面積913㎡ 宿舎7室（定員58名） 第1キャンプ場：常設テント18張（定員180名）※ ※ うち7張は大阪府のハザードエリアにかかっているため現在、使用禁止。 第2キャンプ場：ロッジ5棟（定員50名） 第3キャンプ場：テントスペース10箇所（定員50名） その他場内駐車場・水道関係ポンプ場・給水タンク（一部場外）
市支出額	年額39,374,914円

2. 事業の実施状況

施設、附属設備等の維持管理	年間計画に基づき、職員による日常点検をはじめ、建物・水道設備・エレベーター・消防設備・電気設備については、各業者と委託契約を結んで定期的な点検を実施しました。簡単な補修・改修は職員の手により行いました。 令和元年度は、屋外テーブルの修繕、第3キャンプ場トイレの洋式化などを行いました。
備品整備	年間175万円の予算で10ヶ年計画にそって更新を行っています。 令和元年度は、自炊場・手洗い場の照明のLED化、場内サイトマップの製作設置、冷蔵庫の更新などを実施しました。
利用促進	ホームページやフェイスブック・ブログなどのSNSの活用、webでの情報発信を心がけました。財団ホームページに掲載している空き情報からの利用問い合わせも引き続きいただいています。 また事業案内については、市広報紙「もみじだより」のほか、毎月第4金曜日に箕面FM タッキー816の番組コーナー「教学の森だより」への出演、市内公共施設へのチラシ配架など、市民向けの情報展開も継続して実施しました。 令和元年度はパンフレットをより親しみやすいデザインに更新しました。

<p>主催事業</p>	<p>自然に親しみながら友達作りができ、体力の増進を狙っての幼児や子ども向け事業の展開と、ファミリー向けのアウトドアクッキングや日帰りキャンプファイヤー、落ち葉のプール等、手軽に自然体験・野外体験ができる事業を実施しました。 また年2回(10月・3月)こども向け事業の参加者を対象に「思い出写真展」を実施し多くの保護者の方が来場されました。 令和元年度はキャンプカウンセラーの負担を低減する試みとして、職員で企画・運営する事業もはじめました。</p>
<p>キャンプカウンセラー育成</p>	<p>年間計画に基づき、グループワークなどのコミュニケーションのワークショップ、アウトドアスキルの向上を目指した実技および理論の研修、また救命救急法や避難誘導・消防訓練など万が一に備えた研修、食品の安全に関する研修、場内整備に伴う器具の扱いについての研修を実施しました。</p>
<p>収支</p>	<p>年間2万人の利用を目標に、施設使用料とプログラム料および事業参加費を収入としています。</p>
<p>人員配置</p>	<p>所長以下6名の職員、インストラクター1名で、利用対応、施設管理、主催事業等関連する業務、キャンプカウンセラーの育成に従事しております。</p>
<p>職員研修</p>	<p>箕面市の人権研修参加をはじめ、財団主催の研修や他施設の視察、野外活動技術向上のための外部主催の講習会や他施設との情報交換会などに積極的に参加しました。</p>

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

<p>アンケートの結果概要</p>	<p>料金の安さ、豊かな自然を市街地の近くで体験できる立地、カウンセラーのサポートなどご評価いただき、おおむね9割の満足度を得ております。 一方、施設の老朽化、安全衛生面の改善などご指摘いただいております。可能な範囲でご要望にお応えさせていただきますと思います。 別紙参照（アンケート集計、様式3）</p>
--------------------------	---

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	(令和2年7月27日開催) 「市外の同様の施設より料金が安く、予約が取りやすく利用しやすい」など、好評価を頂きました。 屋外トイレの雰囲気改善、本館・宿泊棟トイレの洋式化、キャンプカウンセラーがサポートできるプログラムの明確化などについてご意見を頂き、可能なものから改善できるよう検討していきます。 別紙参照(様式9)
-------------------	--

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	アンケートや意見交換会、直接お聞きしたご意見、想定されるニーズから、可能なものから対処しております。 令和元年度は、全キャンプ場の屋外トイレに洋式便器の設置を完了し、全自炊場照明をLED化したほか、手洗い場の幼児用ステップ台の設置、転落防止策の増設、駐車場や場内アクセス道の路面整備などの安全対策を行いました。 今後も継続し、施設の整備、備品の更新等を積極的に実施していきます。
------------------	---

4. 収支状況

例年、延べ2万人を超える方にご利用いただいておりますが、令和元年度は、キャンプブームの影響から少人数の家族・グループを中心に団体数では増加したものの、小中学校の校外学習をはじめ大人数の団体利用が減少し、延べ17,815人とどまりました。
特に2月以降は、新型コロナ禍の自粛により、4件の主催事業を中止にしたほか、利用団体のキャンセルが相次ぎ、大幅な減収となりました。

5. 特別提案の状況

施設のシャワールの改修及び温水化	23年度完了
ロッジへのエアコンの設置	24年度完了
第1キャンプ場 指導者用テントの改修	29年度完了
危険木及び間伐の実施	引き続き場内のナラ枯れ等危険木の伐採を大阪府森林組合に委託実施しました。 ハイキング道については市公園緑地室に依頼し実施していただきました。